



# こんにちは! あかちゃん



## アカコンゴウインコ

1月上旬、巣箱の中に卵を確認して見守っていましたが、23日目で抱卵しなくなったため、孵卵器に入れて孵化を試み、2/8に無事孵化しました。大型インコの人工孵化、育雛は当園では初めてのことでしたが、職員の懸命な努力でヒナが育ち、5月末に園内デビューを果たしました。

## ツキノワグマ



2/9、冬ごもり中のルビーが子どもを出産しました。冬ごもりの姿を公開しようと寝室内にカメラを仕掛けていたので、雪の動物園期間中お客さまに子育ての様子もご覧いただきました。順調に育ったメスの仔はルイと名付けられ、5月にはルビーと一緒に展示場に出るようになりました。

## ワオキツネザル



3/26と4/12に別々のメスが産まれました。年々家族が増えるワオキツネザル、今年も2頭が加わり、全部で23頭になりました。

## フンボルトペンギン



3月上旬から4月の末までに、展示場の巣穴や孵卵器で合計7羽が孵化しました。その後1羽が死亡しましたが、2羽が自然育雛、4羽が人工育雛で育っています。人工育雛の個体は時折園内を散歩させています。

## ニホンコウノトリ



昨年より1ヶ月ほど早く営巣、産卵が始まり、4月上旬に2羽が孵化して7月に巣立ちました。昨年の繁殖経験が生きたのか、子育てなどの親鳥の行動にもとことく余裕が感じられました。

## コモンマーモセット



4/7、ももが双仔を出産しました。ももは昨年11/5にメスのこもも(写真右)を出産したばかりです。こももは生れてわずか5ヶ月でお姉さんになってしまいました。

## タンチョウ



4月上旬から営巣、抱卵していた巣で、5/22に1羽のヒナが孵化しました。昨年は無精卵で孵化しなかったため、2年ぶりの繁殖成功になります。

この他、**ニホンリス、ホンドザル、ヤマアラシ2種、マーコール、シバヤギ、ホオアカトキ**などに赤ちゃんが生まれました。

## 移動動物の紹介

仲間入りした動物たち

### アライグマ



3/13、展示個体の更新のために、弘前市弥生いこい広場から若い2頭のオスを導入しました。来園当初は小屋の中から出ようとしませんでした。最近ではまんまタイムの主役の座にも慣れてきたようです。

この他、**ジャンボウサギ、ハリスホーク**などが仲間入りしています。

### シンリンオオカミ



6/7、群馬サファリワールドからカナダ生まれのメス、ジュディー6才が来園しました。白くて細身の美しいオオカミです。7才のオス、シンと良いカップルになることを願っています。

### アミメキリン



6/14、長野市茶臼山動物園から、2才のオス、カンタがやってきました。今はまだ7才のメス、リンリンより一回りほど小さいのですが、早く大きくなって家族を増やしてほしいものです。

よろしくね!



大森山を後にした動物たち

### アムールトラ



6/19、メスのアサコ1才を希少動物の繁殖のためにアドベンチャーワールドに貸し出しました。

### アフリカタテガミヤマアラシ



3/7、昨年9月生まれメス、チャーハンを長野市茶臼山動物園に搬出しました。

この他、**シンリンオオカミ、コクチョウ**が他の動物園に移動しています。

元気でね!



## イヌワシの有精卵移動



移動前の2卵

4/2、当園のイヌワシの有精卵2個を盛岡市動物公園に移動しました。これは希少種の保存のために、国内初となる有精卵の長距離移動と、繁殖未経験のペアに経験を積ませるなどの目的で行ったものです。卵は盛岡市動物公園のペアによって無事2羽のヒナにかえりました。人工育雛で育てられたヒナは7月末に亡くなりましたが、自然育雛のヒナは順調に育っているようです。

## 飼育動物数 (平成24年6月末現在)

類	種数	点数
哺乳類	52種	326点
鳥類	43種	190点
は虫類	11種	46点
両生類	1種	2点
魚類	4種	42点
無脊椎動物	1種	6点
計	112種	612点

## 訃報

忘れないよ...



### シンリンオオカミ

♀ミッドナイト15才  
4/6、オスのミッドナイト15才が亡くなりました。直接の死因は腎不全とみられますが、全体に老化が進んでいたようです。16年近くも頑張ってくれた功労者です。

この他、**ミーアキャット、ワシミミズク、シロフクロウ、マーコール**などが天に召されました。それぞれ、お客さまの注目を浴びた人気者でした。冥福を祈ります。



### アライグマ

♀リン12才  
5/8、高齢による衰えから「森のびょういん」へ入院していたメスのリン12才が亡くなりました。まんまタイムでは、担当者の指示通りに動いてくれる名優でした。



### レッサーパンダ

6/28、展示場で産み落とされ、母親が面倒をみなかったことから、この種では当園初となる人工哺育となりました。その後生育は順調と思っていたのですが、残念ながら7/9朝に死亡していました。